

## 第3号 南部箕蚊屋広域連合

# まめ・カフェ通信

### ～第3回まめ・カフェ開催報告～

平成29年12月21日(木) 18:30～20:00

伯耆町農村環境改善センター 多目的ホール

参加者 51名(参加者 40名、スタッフ 11名)

( 医師、薬剤師、看護師、理学療法士、介護福祉士、  
社会福祉士、介護支援専門員、福祉用具専門相談員等 )

【 アンケート結果より 】( 回収数:37 )

まめ・カフェに参加していかがでしたか？

- |          |     |
|----------|-----|
| 1.大変良かった | 19名 |
| 2.良かった   | 16名 |
| 3.普通     | 2名  |

#### 講座

「我が家で逝きたい思いを  
叶えるために～事例を通して～」



お茶代は皆さまからの募金で運営をさせていただいています。持ち込みも自由になっています。

お好きな飲み物を入れてテーブルにつきお菓子も囲んで、ミニ講座とそのあとの意見交換会にご参加いただきました☆

#### まめ・カフェとは??

医療や介護、地域に関わる私たちの仕事ってまめでなければつとまらない。「まめなかや?(元気ですか)」と、こまめな声かけが関係づくりの第一歩!...多職種が気軽に集ってまめに話せる場所が欲しい☆という声からできたのが、まめ・カフェです♪

飛田医院 医師 飛田 義信氏に講座として「我が家で逝きたい思いを叶えるために～事例を通して～」と題し、お話をいただきました☆



講座では、鳥取県西部地区の在宅療養のための医療・訪問看護サービスの状況についてのお話や、実際に我が家で逝くことが叶った方の自宅での生活の様子や医師、介護サービス事業所、ご家族の関わり、ご家族の看取った後の思いについてお話されました。お一人暮らしの方の看取りの事例についてのお話もありました。



## 《参加者の感想》

- ・ 自宅で看取ることの大切さを改めて考えさせられた。家族の意思、周りのサポートがいかに大切か考えさせられた。
- ・ 看取りの事例…家族の方等の生の声が聞けて良かったです。
- ・ 自分自身のことも考えていきたいですね。
- ・ 終末期の関わりについて、家族で話し合っておくことが大事。残された家族は、どのような終末期を迎えるのか…。支える家族が少なくなると難しくなる。
- ・ 看取りのケースを実際に聞き、とても勉強になりました。ドクター中心に多種に渡る専門職が本人の想い、在宅で全うしたいという気持ちに添えることは素晴らしいと思います。連携とはこういう事なんだと思いました。



- ・ 独居の看取りの支援を聞くことができた。難しいと考えていたのでサービスの提供だけでなく、ご家族の支援をすることも大切な条件と考えさせられました。
- ・ 様々な職種の方の意見を聞き、交流できることは大変良い刺激になりました。
- ・ 大変重い話で、自分の力量のなさを痛感しました。覚悟が必要に思います。貴重なお話をありがとうございました。
- ・ 現場の話が聞けることが一番ありがたいと思います。
- ・ 在宅看取りに対する思いを聞き取れることが素晴らしい。
- ・ 本人家族の意思が一番大事であることは、勿論ですが、いつでも受け入れてくれる病院のベッドがある事もとても大切と思いました。

### 【 今後の取り組みについて…ご意見、ご要望等 】

- ・ 色々な会場で開催していただきたいと思う。
- ・ 看取りをテーマに何回も計画されてもよいかと思いました。
- ・ 慢性期疾患、非がん患者さんへの精神的ケア、認知症の方の支援の紹介など。
- ・ 看取りについて…もう少し時間が欲しかったです。



**アンケートにご記入いただいた内容の一部をご紹介させていただきました。  
ご協力ありがとうございました。今後の会の活動に繋げていきたいと思ひます。  
次回も、皆さまのご参加をお待ちしております！**